

Trimble Access ご使用前に

株式会社 ニコン・トリンブル

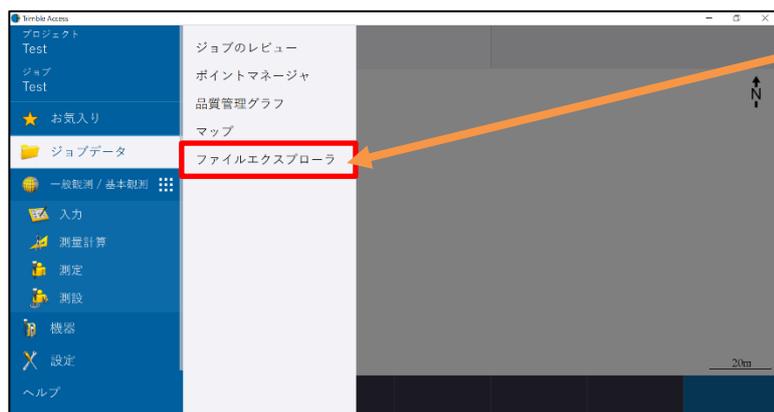
① プリズム定数

プリズム定数は、プリズムに明記された値をそのまま入力してください。

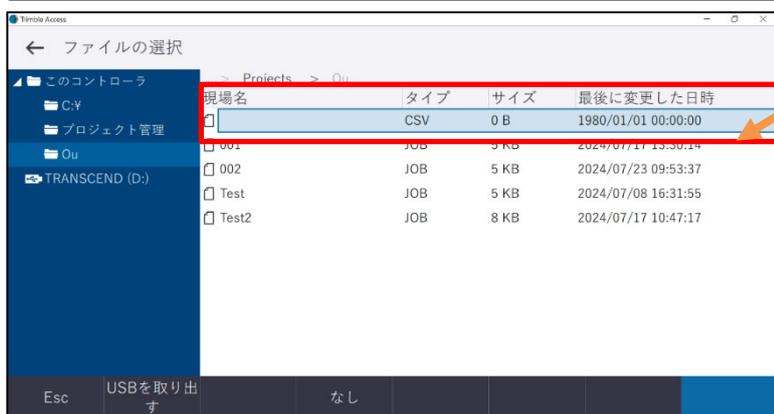
※弊社のフィールドアプリケーション efitOne / LANDRiV Pro / SiteMeasure では、プリズムに明記された値の符号を反転して入力いただいておりますのでご注意ください。

② 日本語ファイル名の注意点

出来形設計データファイル名、APA、SIMA 座標ファイル名に日本語文字が含まれる場合、稀に、ファイルを正しく認識できないことがあります。以下の手順で対象ファイルが正しく認識できているか確認してください。



メインメニュー／ジョブデータ／**ファイルエクスプローラ**をタップします。



対象ファイルの以下の情報を確認してください。

サイズ **0B**

最後に更新した日時 **1980/1/1 00:00:00**

この場合、日本語文字列を含むファイル名を英数半角のみのファイル名に変更してください。

③ 路線末尾断面

出来形観測で、以下のエラーメッセージが表示される場合があります。

「路線末尾に座標を計算できない出来形構成点が存在します。出来形設計データの路線長を 1cm 以上延ばすことで改善されます。」

路線末尾の横断面上の座標計算が行えないため、対象断面の出来形観測が行えません。お手数ですが、路線の中心線データを 1cm 以上延ばして頂くようお願いします。

④ ステーション名称

平面図マップ等に表示するステーション名称（NO.点表記）は、Trimble Access 2024.01 ではブレーキ対応が行われておりません。

⑤ 出来形観測：観測点タイプ(GNSS)

出来形観測を GNSS を用いて行う場合、観測画面の観測点タイプを**地形ポイント**で行ってください。（地形ポイント以外では目的の精度が得られない場合があります。）

⑥ GNSS 観測 初期値設定：単位系

GNSS 観測を行う前に⑥～⑧章の設定を必ず行ってください。

GNSS 観測の観測精度制限値の単位を指定します。



ジョブ画面から**詳細**ボタンをタップし、ジョブ詳細情報画面を表示します。

単位 (距離)項目をタップします。



精度の表示項目を **DRMS** に設定します。

⑦ GNSS 観測 初期値設定：観測パラメータ（移動局オプション）

GNSS 観測を行う前に⑥～⑧章の設定を必ず行ってください。

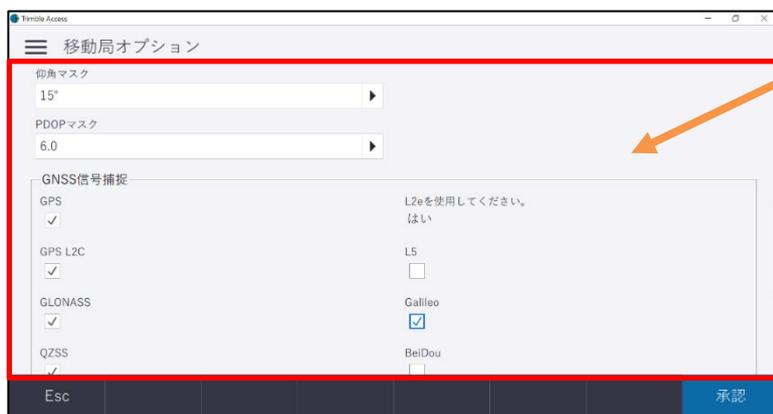
GNSS 観測の観測パラメータを指定します。

	変更内容
仰角マスク	15 度に変更
PDOP マスク	7 に変更
GNSS 信号捕捉	<input checked="" type="checkbox"/> GPS <input checked="" type="checkbox"/> GPS L2C <input checked="" type="checkbox"/> GLONASS <input checked="" type="checkbox"/> Galileo <input checked="" type="checkbox"/> QZSS ※GPS L5：OFF / BeiDou：OFF にしてください。
移動局精度：自動許容値	いいえ に変更
水平許容範囲	0.025m に変更
鉛直許容範囲	0.040m に変更



メインメニュー／設定／測量スタイルをタップし、GNSS 観測で利用する測量スタイルを選択します。

移動局オプションを選択し、編集ボタンをタップします。



各種値は上記表を参照してください。

画面を下方へスクロールします。



各種値は上記表を参照してください。

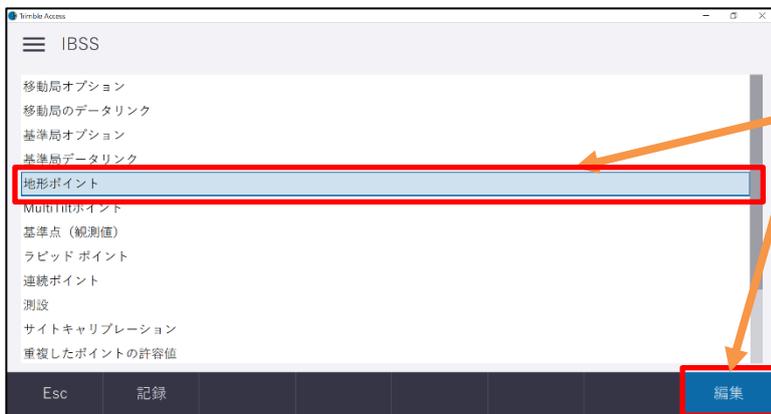
最後に承認ボタンをタップしてください。

⑧ GNSS 観測 初期値設定 : 観測パラメータ (地形ポイント)

GNSS 観測を行う前に⑥～⑧章の設定を必ず行ってください。

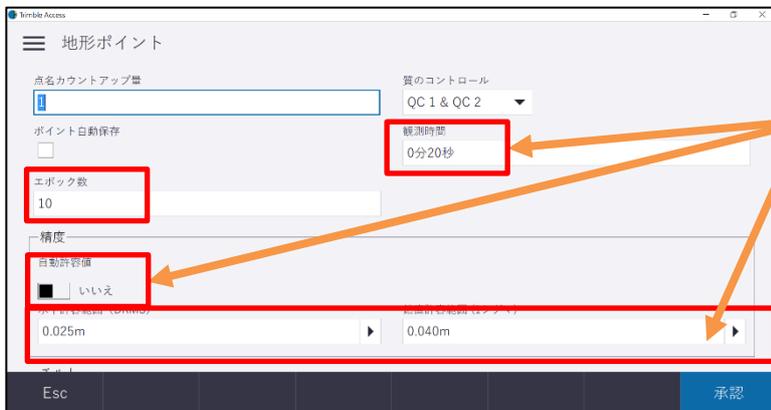
GNSS 観測の観測パラメータを指定します。

	変更内容
エポック数	10 に変更
観測時間	10 秒以上の値に変更
精度 : 自動許容値	いいえ に変更
水平許容範囲	0.025m に変更
鉛直許容範囲	0.040m に変更



GNSS 観測測量スタイル画面の

地形ポイント を選択し、**編集** ボタンをタップします。



画面を下方方向へスクロールし

各種値は上記表を参照してください。

最後に**承認** ボタンをタップしてください。

⑨ GNSS VRS 観測初回設定

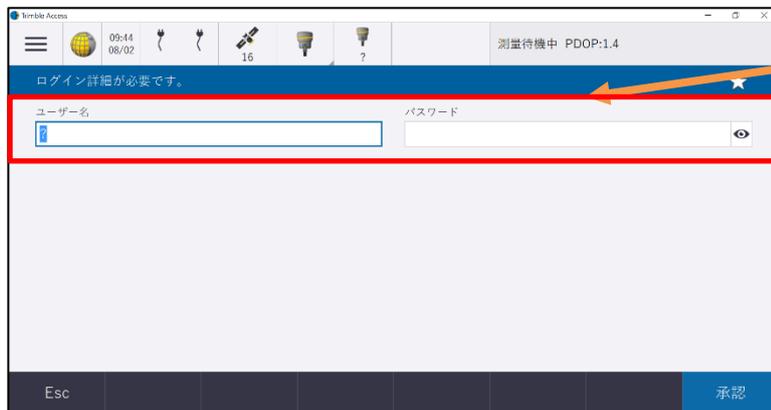
GNSS(VRS)観測初回のみ行ってください。



GNSS(VRS)観測スタイルを選択すると、通信設定／GNSS 補正ソース画面を表示します。お客様が契約している補正信号配信会社を選択してください。



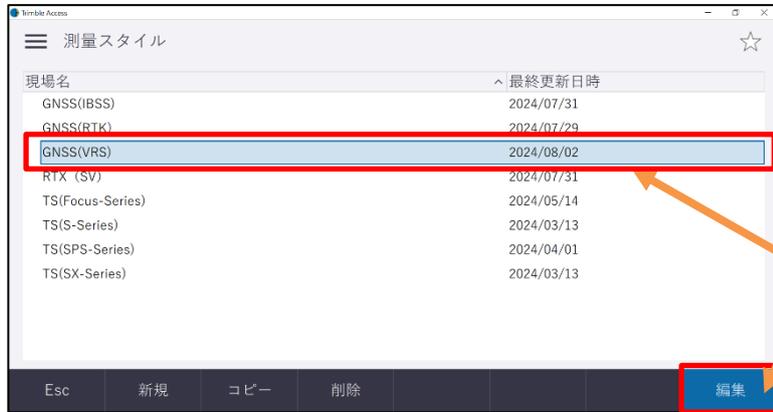
VRS マウントポイントを選択します。



初回のみユーザー名／パスワードを入力してください。

10 GNSS VRS 設定

GNSS(VRS)観測の初期設定を変更します。

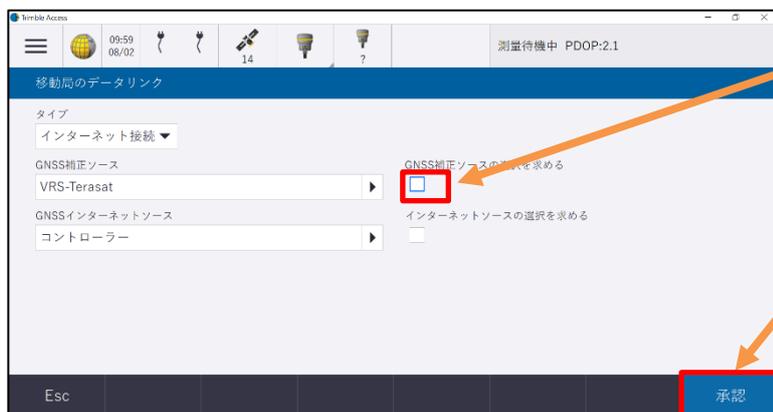


GNSS(VRS)観測スタイルの設定（配信会社／ユーザー名／パスワードの設定）が完了したら、以下の手順で設定を変更してください。

メインメニュー画面／**設定**／**測量スタイル**を選択し **GNSS(VRS)**を選択し、**編集**ボタンをタップします。



移動局のデータリンクを選択し、**編集**ボタンをタップします。



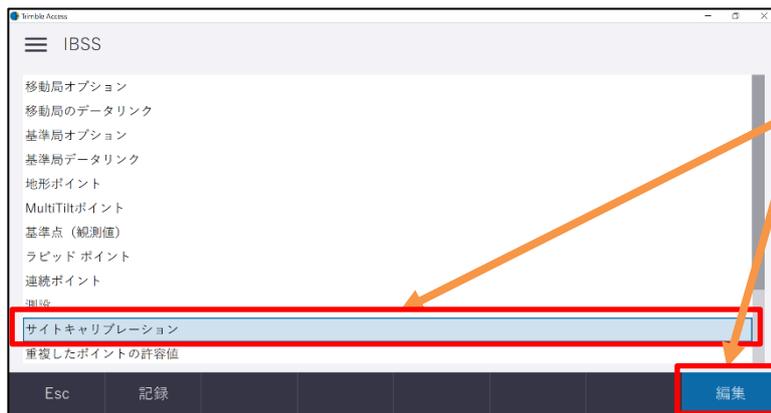
GNSS 補正ソースの選択を求める を **OFF**に変更し、**承認**ボタンをタップします。

11 GNSS サイトキャリブレーション

GNSS サイトキャリブレーションを行う場合は、計測エリア全体を囲う 4 点と、可能であれば、計測エリア中心 1 点以上の点を利用して下さい。出来形観測を行う場合は、4 点以上利用しないと観測できません。

	変更内容
自動キャリブレーション	ON に変更
垂直調整	斜面に変更

※サイトキャリブレーションを行う場合は、ジョブ設定のジオイド補正を OFF にして下さい。



GNSS 観測測量スタイル画面の

「**サイトキャリブレーション**」を選択し、「**編集**」ボタンをタップします。



各種パラメータを変更し、最後に「**承認**」ボタンをタップして下さい。

2024年8月発行

株式会社ニコン・トリンブル

〒144-0035

東京都大田区南蒲田 2-16-2 テクノポート大樹生命ビル

<https://www.nikon-trimble.co.jp/>

株式会社 **ニコン・トリンブル**

(T24007)